

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

令和2年2月18日（火）

午後1時30分～午後2時46分

議会第1会議室

【出席委員】山下伸二委員長、永渕史孝副委員長、中村宏志委員、御厨洋行委員、  
富永明美委員、宮崎 健委員、白倉和子委員、福井章司委員、  
重田音彦委員、  
平原嘉徳委員、嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】川原田裕明議員、山下明子議員

【執行部出席者】白井副市長兼佐賀駅周辺整備構想推進室長  
武藤企画調整部長兼佐賀駅周辺整備構想推進室理事  
百崎経済部長  
千瀨建設部長  
百崎教育部長  
ほか、関係職員

【案 件】

・佐賀駅周辺整備関連事業に関する諸種調査

○山下伸二委員長

それでは、時間になりましたので、ただいまより第2回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を開始させていただきます。

まず、本日の式次第につきましては、お手元に配付の資料のとおり進めていきたいというふうに考えておりますけれども、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、お手元の資料のとおり進めてまいります。

まず、式次第の1番目ですけれども、佐賀駅周辺整備事業について、この件につきましては、これまで、所管します総務委員会や全員協議会等で随時報告がなされて来たところではございますけれども、今回、この特別委員会が設置されたということを踏まえて、改めてこれまでの経緯、現状等について、佐賀駅周辺整備構想推進室から説明を受けたいというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしということですので、執行部の皆様の入室をお願いいたします。

御手元にペーパーのほうを配付しておりますけれども、iPadのSideBooksのほうにも資料は入っておりますので、そちらのほうも参照いただければというふうに思います。

それでは、準備ができましたら、執行部からの説明をお願いいたします。

◎佐賀駅周辺整備事業について 説明

○山下伸二委員長

ただいま執行部のほうから、これまでの経緯並びに現状等について御説明いただきました。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様からの御質疑をお受けいたします。

○平原委員

まず、西友跡地での件ですね。今、大和ロイヤルのほうで建設されていますけれども、当初、3階建てということを知っていましたが、今2階建てになっているということで、1階のフロアについての御説明というのはあったんですけども、2階については今どうなっていますでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

先ほど申し上げましたとおり、資料の3ページのところに載せておりますが、開発内容につきましては、開発事業者のほうから聞き取りを行っているところでございますが、ここに書いております医療機関でありますとか、ドラッグストアとか飲食等を整備していくということで、話を聞いているところでございまして、全部が埋まっているのか、どういう状況にあるのかというのは、まだ全部埋まっている状態ではないような感じで聞いておりますが、私どもが聞いております現状はそういった感じでございます。

大体埋まっているけれども、まだ少し空きがあるような報告を受けております。

○平原委員

2階部分の飲食のところですね。飲食のほうは全然決まっていなような話だったんですよ。民間がやられているので、その辺はちょっと、我々がどうのこうのという立場ではないかもわからないけど、やっぱり、しっかりそういった、こういう建物についてはですね。にぎわいを創出するようにしてもらいたいというふうに思います。

それと、北側ばかりではなくて、南側のほうにも、人が通えるような、誘導するというふうな図が1ページに載っていますけど、実際、南にある唐人町あたりはシャッター街ですね。シャッターが閉まっていて、オープンしている店舗が非常に少ないようなんですが、そこら辺のてこ入れっていうのは考えられていますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まず佐賀駅周辺整備推進室からお答えしますが、今、南側の広場のところを整備するとき、道路、縦の道路がございまして。一部4車線になっている道路がございまして、ここら辺も含めて、県道でございまして、県のほうに要請するという形になります。今、県のほうと打ち合わせをしておりますので、この駅の広場の整備にあわせて、西側の道路も歩きやすくなることとなります。要は、駅南広場から、今まではもう、どうしても東側の通りしか人が歩かないような構造になっていましたが、今度から両方に人が流れていけるような仕組み

になります。やっぱり、南のほうに人が流れていくような仕組みっていうんですかね、流れやすいような仕掛けをしていかないといけないということで、道路については、今、県のほうと、整備の仕方について協議を進めているところですが、この先、やっぱり人が南のほうに流れていかないと、整備する意味がないというふうに思っていますので、これにつきましては経済部と連携をしていきたいというふうに思っております。

○山下伸二委員長

この件で、経済部のほうから何かございますか。

○坂井経済部副部長兼商業振興課長

南まで人を流すということでございますけれども、これまでも、例えば中央大通りに空き店舗が出た場合には、その空き店舗へのテナントリーシングをするというふうな制度、あるいは地元の方と一緒に、例えば街なかバルとか、現在はひなまつり、そういうふうなイベントなんかをやっておりますけれども、今後もこういうふうなイベントを続けつつ、これからどうやって南まで人を流していくかということについては、中心市街地の方々、あるいはまちづくり団体、商工会議所などと打ち合わせをしながら、新たな対策は講じていきたいというふうに考えてございます。

○平原委員

北のほうの話をさせてもらいますけれども、いわゆる今4車線、2車線、2車線を、1車線、1車線にして、歩いてもらう工夫をされていくということですけど、ちょっといろんな方々の声を聞くと、本当に歩くんだろうかと。そして、また2車線1車線にして本当に交通渋滞が起こらないだろうかと。ましてや、サンライズパークについては、駐車場が足りるのかと、逆に交通渋滞を起こすんじゃないかと、しきりに言われるわけですね。

また、県のほうでされると思えますけど、サンライズパークの8,400人、本当に身の丈に合った施設なのかというのが、今は市民の中でも非常に疑問の声が聞かれるわけですね。

なので、その辺について、どういう仕掛けを持って歩かせようとされているのか、その辺をお聞かせください。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

佐賀市、佐賀県というのは、人がなかなか歩かない町でございますので、やっぱりそういう文化を根付かせていくというのは、なかなか難しいかなというふうに思っていますが、今、三溝線の整備に関する地元の方との話し合いをやっていく中で、やっぱり地元の方たちがウェルカムをしていただかないと、なかなかそこに人が歩くというか、楽しく歩いていただく場所にはならないかなというふうに思っています。

そこはやっぱり、私ども、佐賀市の関係者と、それから地元の方たちとが一緒になってやっていく必要があるというふうに思っています。で、地元の方たちの中に、高校生も多く、役割としては大きな役割が出てくるかなというふうに思っています。

今、もちろん佐賀商業高校には直接会議に入っていていただいて、検討を進めているんですけ

れども、佐賀清和高等学校とか、それから、佐賀学園高等学校とか、もう一つ……委員の中に、佐賀駅周辺って学園都市だというふうにおっしゃっている方もありますので、そういった高校生たちの力も借りて——ここが、実際歩いてみると1.4キロなので、全然苦ではなくて、何回も私はここと会場との間を往復していますが、私ですらそんなに苦痛ではありませんでした。往復しても、そんなに大変ではないです。

ですから、要は意識の問題だと思うんですが、やっぱり歩いて楽しいかどうかというのが、皆さんが歩いていただけるかどうかということになると思いますので、そこは、周りがどれだけにぎわっているかとか、楽しい場所になるかというところが重要だと思います。

まず、ベースとしての道づくりというのをやっていきますが、それにあわせて、周辺の自治会の皆さんとか、さっき申し上げましたそういった高校生の皆さん方と一緒に、あそこをとにかくにぎわせるぞという、そういう仕掛けをやっていきたいというふうに思っています。

○山下伸二委員長

今、推進室のほうから、主にソフト面の説明があったんですけども、建設部のほうから、ハード面の整備がありましたので、その点について何か建設部からあれば、補足をお願いしたいと思うんですよ。特に2車線から1車線にすることに対する渋滞の懸念とか、そういったことがありましたので、その辺についての考えをお願いします。

○江口道路整備課長

4車線から2車線にするときに、交通量調査とか、もう行っているんですけども、2車線あたりの交通量としては、道路構造令では、1万台通れる交通量なんですけれども、あそこで社会実験を行ったときに、交通量としては8,000数百台だったかと思います。

それで、十分容量が足りているということで、車道の方は大丈夫ということで判断をしております。

○平原委員

8千数百台っていうのは現状での8,000数百台ですよ。サンライズパークができてから8,400人収容できるわけですね。あそこを通過するのが8,400人では済まないわけですね、将来オープンしたらですよ。だからそこまで考えていらっしゃるのかということ。ちょっとそこを答弁してください。

○江口道路整備課長

さっき言った8千数百台っていうのは、車の台数を言ったものです。

○山下伸二委員長

いや、だから、一般的に8千数百台通れるんだろうけども、アリーナが完成すれば、もっと車の量がふえると、そういうことは想定されていないんですかという質問だと思うんですけども。

○姉川建設部副部長兼都市政策課長

確かに委員がおっしゃるとおり、そういった懸念もあるのかなということで思っております。

ただし、あの道路は、基本的には駅までというか、目的は駅、駅周辺に目的がある方が使われているということで認識をしております。

ですから、国道 264 号線、263 号線につきましては、確かにそういった交通量がふえたりとか、イベント時にはふえるってというようなことが懸念されているとは思いますが、あの道路に直接というのは、今のところそこまで負荷はかからないだろうというようなことで考えております。

#### ○平原委員

その辺がちょっと我々との考えの違いが出てきていますけども、先ほど池田副室長のほうから言われた 1.4 キロメートルを歩くには、そんなに苦にならないというような話でした。コンサートとかに向かう方々はそうかもわからない。だけど、例えば、いろいろなスポーツ関係、僕は剣道をしていましたのでわかるんですけど、関係者に話を聞いたら、剣道の大会に行く時は防具をかついで、そしていろいろなものを持って行くわけですね。で、剣道等関係者なんか聞いてみたら、とてもじゃないと。非常に、そういったところまで、いわゆるそういう声も聞かれるわけですね。

だから、その高校生云々とかと言われましたけれども、そういったところまで考えていらっしゃるんですか。

#### ○白井佐賀駅周辺整備構想推進室長

あそこを、SAGAサンライズパークの使い方を何パターンか、そうやっておっしゃるように整理しないといけない。一緒にしてしまうとそんな話になってしまうので、まず整理すると、今まで使っておられたような方は、ほぼ便利にはならないです。

だって、駐車場は増えないので、あまり変わらない、不自由を感じてもらいながら使っていただくということに多分なると思います。

それは、おっしゃるとおり、歩こう歩こうというような文化をつくるというのは、片方で大事なことでやらないといけないけど、やっぱり防具を運ばないといけないとか、部活動で部員がバスを乗り合わせて来たりとか、いろんなパターンがあって、だからそういう意味で、今まで使っているようなやり方で使うパターンの場合は、あまり変わらない、そこそ不便を感じながらやるということになろうかと思えます。

歩かせようと言っているのは、おっしゃるとおりコンサートとか、例えば、あそこは公式のフィギュアスケートもできる面積がとれるので、例えばNHK杯とかもありうるんですね。そういうときはもう、多分女性のファンが、全国から来ると思います。そういうお客さんは車で来ないんですね。そういうお客さんをどうあそこに集めるかというのが非常に課題だったわけで、そういう人たちには歩いてもらおうという発想なわけですね。中にはチケットを買って行かれる市民の方もあろうかと思えますけれども、そういうパターンと、ふだ

ん使いのパターンのときとはちょっとやっぱり分けて考えながら、整理をしていこうという、そういうことを今検討しているということですね。

○平原委員

最後の質問にしたいと思いますけども、そもそも論として、8,400人収容の物が必要なのか、妥当なのかという議論も、今もう県内でもあるわけです。本当に8,400人の収容型を作ったときに、指定管理をされて、県が10年間で50億円出すというふうに言われていますけど、逆にそういったことで、建設費等を含めてですよ、県に財政負担が重くのしかかるんじゃないかっていうような議論もあります。だけどもはちょっと市の特別委員会なので。

あと一つがですね、やはり今から、それを活用していくために、やっぱりどうしてもホテルが足りないということもあって、ホテルについても、動きがあるようですが、ここにありますように、14ページにありますようにアップグレードホテルということなんですね。アップグレードホテルっていうのは、非常にこう高いグレードのホテルを要求されていると思いますけれども、何でアップグレードホテルを要求されているんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

もちろん、ビジネスホテルも不足しているのかなというふうに思うんですが、お話の中で出てきたグレードの高いホテルっていうのが今、佐賀市内にあまりないですね。ホテルニューオータニと、それから、マリトピアのところぐらいかなというふうに思うんですが、佐賀市を訪れる割と高いホテルを御要望になっている方が、主に使われているのが福岡のホテルだそうです。

さらに、それなりのホテルがあれば、そちらのほうを利用されるっていうのが結構あるっていうのは、今回、ヒアリングをやった中で出てきたところです。そういうホテルを運営されている方々が、佐賀市には十分、そういうアップグレードホテルのビジネスチャンスがあるというふうにお話をされておりました。

ただ、ビジネスホテルにつきましては、やっぱり、今でもかなり利用が多いというふうに見えていますので、こういったものにつきましては、場所がここではなくてですね、誘致等は行ってまいりたいというふうに思っています。

ただ、ホテル全体、やっぱりキャパが不足しているというふうには考えております。

○白倉委員

実は幾つか聞いたことがあるんですけど、まず、先ほど平原議員からもちょっと質問が出ましたけれども、テナント開発の部分の、西友跡地の、コムボックスのほうですね。先ほどの答弁では、1階はいろいろ介入した中でJ Aとかいろんなところの拠点とかですね、いろいろ整備が固まっているんですけども、2階がほぼほぼ埋まっただろうというふうに、今ちょっと聞こえたんですね。私が把握していることでは、これ1月時点で、2階の5割ぐらいじゃないかなと、2月までにどう埋めていこうかと。令和2年6月の開業は、まずちょっと

無理かもしれないと、契約ってというのがありますのでね、2階の部分に関しては。今からの契約もありますので、まず無理かもしれないけど、まず1月時点で5割の現状から、2月末ぐらいまでにどうやって半分ぐらいまで、見込みも含めて、少なくともそれから伸ばすかっていうものを苦慮されているように感じているんです。私は感じているんです。

ただ、民間の企業が入るからといって、何ていうかな、情報を一方的に、こういうふうに関き及んでいますではなくて、ここ自体をやっぱり成功してもらわないといけないんですよ。このビル自体が、民間が入ってきてのビルですから、先ほど言われたほぼほぼ埋まっているでしょうって、それは本当ですか。どういうふうなデータに基づいて、先ほどの答弁は行われましたでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

先ほどから申し上げておりますとおり、私どもとしては、今のところ聞き取りですね。事業者と大和ロイヤルとお話をして、そこで聞いた中で、実は、多分企業秘密的なところがあると思うんですが、こう言って何件、どうやって入っていますっていうようなお話をされるわけではございませんが、7割程度だとか、ここら辺は大体埋まっていますとか、そういうようなお話でございますが、今、私たちが聞いているのはそういうことです。

それで、もちろん私たちとしても、2階のテナントも埋まってほしいなというふうに思っていますので、要請とかがあれば、こちら情報があれば、お伝えするのは全然やぶさかではないというふうに思っています。

○白倉委員

まあ7割程度だと。

そういうふうにして、細かいことは、もちろん向こうも入ってくるころとの契約関係がありますので、すべての情報公開はできないとしても、それはもう市としては把握して、まずこの辺の埋まるころの部分については、まず心配ないというふうなことを今考えていらっしゃるかと理解していいんですか、我々は。いや、1月ぐらいまではもう5割埋まるかな、埋まらないのかなっていうふうな感じで思っていましたのでね。今のところの意見交換では、もう7割程度は埋まっているというふうなことでいいんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

できる限り埋まった状態でオープンしてほしいなというふうに思っています。もちろん全部埋まっているのがベストだと思いますが、今、ちょっとオープンの時期が6月頃という感じで、1階の部分を進めておりますので、2階につきましては、多分、全部埋まらないとしたら随時という形になるかと思いますが、6月頃というそのオープンの時期に、できる限り2階も埋まってほしいなというふうに思いますので、さっき申し上げましたように、私どもも協力は全然惜しまないつもりではいます。

○山下伸二委員長

それぞれ委員の皆さんはいろんな情報源をお持ちだと思いますけども、佐賀市としては

あくまでも事業主、事業者からの聞き取りということでこの委員会に報告いただいていますので、埋まっている、埋まってないとのやりとりをここでいくらしても、市からの答弁については同じだと思いますので、その辺はぜひ御理解いただきたいと思います。

○白倉委員

それはよく理解していますので。

できれば多く埋まっているほうが、オープンとしては、佐賀市としてもにぎわいづくりという一つの目的の中で好ましいわけですから、ぜひ市側のほうからも積極的に意見交換して、情報をやりとりしていただくようお願いしたいと思います。

もう一つは、同じところのビルの観光拠点整備のことですね。県と協働して具体的に進めていかれているわけですが、懸念するのが駅構内にある佐賀市の観光拠点というか、案内所があるわけですね。そことの住み分けっていうのは、例えば、どっちに行っても同じようなものがあっても、またそれはそれであれなんですね。どういうふうを考えていらっしゃるんですか。

○古賀観光振興課長

今現在、駅の構内にあります観光案内所ですが、これはそのまま残ります。と言いますのは、今機能的に非常にあそこは狭い場所でやっております、あそこで今できることは、簡単な観光の質問に答えること、それから、パンフレットをお渡しするぐらいの形しかできておりません。やはり今後、広域の観光とか、それからインバウンドに対応するために、今できていない部分をこの新しく整備する観光案内拠点において説明するというございます。

それで、今ある観光案内所の場所ですが、駅の構内にあるところは、改札を出てすぐ目につくところ、非常にいい場所にありますので、あそこはそのまま残しまして、そしてそういった案内の場合は、コムボックス内の観光案内所のほうに誘導させていただくということで、コムボックスの中では、またそういった詳しい旅の提案だとか、アドバイスができるような機能を充実させていきたいというふうに考えております。

○白倉委員

済みません、続けて、三溝のところの、先ほども意見が出ましたけれども、渋滞等々が心配される部分があると。地元の説明会っていうのが何回か開かれていると先ほど説明を受けましたけれども、三溝公民館等で開かれている、いわゆる地元の、おひぎ元の説明会ですね。そこで出された意見っていうのを、ちょっと参考のために教えていただけますでしょうか。我々は我々で、漏れ聞くところではありますが、市としてはどのように把握されているのか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係参事兼係長

三溝線の検討会でいろいろお出しいただいた意見を抜粋して、何例か御紹介いたしますと、道路というのは安全性が物すごく大切ですので、歩く人だけではなくて、車や自転車の

目線でも考えてほしいとか、道路施設や設備の配置っていうのは、900メートル区間がございまして、それを一律で考えるのではなくて、例えば、こちら辺がお店を出す、出店のイメージだとかですね、ある程度ゾーニングとか、そういった視点でも考えてほしいとか、そのような意見などをいただいております。

また、サンライズパークまで1.4キロございますので、1つの目印と申しますか、サンライズパークまであと何メートルとか、そういった距離表示なんかも出していただくと、歩くときの変化になるということで、そういうのもぜひあったほうがいいのか、そういった御提案などをいただいております。

○山下伸二委員長

今のは三溝線を活かしたまちづくり検討会での意見ですね。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係参事兼係長

そうですね。

○白倉委員

三溝線を活かしたまちづくり検討会っていうのは、三溝自治会の住民説明会とまた全然別なんですね。私が、今ちょっとごめんなさい、聞き方が悪かったんですが、12月19日の住民説明会で、恐らく初めて中身を聞かれる住民の方も多かったと思うんですね。そこで出された意見っていうのはちょっとどういうふうなものがあったのか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係参事兼係長

基本的には、いろいろ活用していきたいという前向きな意見もありましたけれども、一方で、今議員がおっしゃられましたとおり、実際これまで知らなかったということで、それは、駅前の道路は4車線あったほうがいいんじゃないかといったような意見もございました。

ただ、先ほど建設部のほうからも答弁がございましたように、交通量、また周辺道路への流入、そういったものにつきましては、社会実験を経て大丈夫という判断をしておりますので、そういった御説明を差し上げているところでございます。

○宮崎委員

先ほどの流入、三溝線の4車線から2車線ですけれども、多分地元の自治会とかから要望も上がったり、さまざまな動きはあったというふうに思うんですが、三溝線はそれでいいと思っているんですけど、263号線、264号線は、今でさえ物すごく混むんですよ。特に、まず、三溝線とぶつかる場所の日赤のところ、そこでまず混みます。私は唐人町に住んでいますが、成人式会場まで車で行くと40分かかりますよね。

さっき副市長が言われたように、確かに今まで利用されている方にとって特段何か変わりはないかもしれないけれども、今後新しくそうやってスケートがあつたり、コンサートがあつたりするときには歩かせていいたろうということだったんですけど、それに伴ってですよ。交通渋滞、本当に263号線と264号線の流入量、ここで大丈夫ですかと言っても大丈夫ですよとは多分言えないだろうし、いや、だめですよという明確な回答はないかもしれな

いんですが、何かそこら辺は対応策とかですよ。そこら辺を考えたり、協議されたりというのはあるんですか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係参事兼係長

今議員がおっしゃいましたような、国道、本線のほうの渋滞に関しましては、佐賀県でも、国道のほうの改良を予定されております。

例えば、今の国立病院機構佐賀病院と言いますか、北から南へ来るところの立体交差のところで左折レーンを1本ふやして、直進車両、南進車両の直進を阻害しないようにとか、そういったことで道路改良を予定されております。

○白倉委員

令和2年の6月のテナント、JAなんかそのとおりに進んでいると思うんですが、以前からちょっと懸案になっています駐輪場所、バイクも含めて、あそこはどういうふうに考えていらっしゃるんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

ちょっと悩ましいところです。今、施設のほうでは、コムボックスの西側を多分想定して、駐輪場っていうふうに言われているみたいなんですけど、今現状はそっちに駐輪場ができて構わないかもしれないんですが、今後、あそこが駅の広場になるのですよね。

将来的なことを考えると、駐輪場っていうのは、違うところに、もうちょっとこう——それも、しかも30台分ぐらいの駐輪場しか、大店立地法上の規定でいうと、30台でいいらしいので、そういう駐輪場ということらしいんですが、佐賀の場合、やっぱり自転車の利用者って多いので、それ相当の規模の駐輪場というのは整備しないといけないかなというふうに思っています。今、済みませんが、どこでこういうことをやっていくというのをきちっと決めているわけではありませんが、周辺の地権者の方とかと相談しながら、適切な場所に、やはり皆さんが困られないような駐輪場っていうんですかね、設置したいというふうには考えています。

○白倉委員

ぜひ、何ていうかな、速やかに必要になる場所だと。今まであったわけですから、旧西友の場合はですね、駐輪場も含めてですね。それをぜひ検討を急いでいただきたいというのと、それと、ここに観光拠点ができるときに、今は、駅前広場の中の一部に置かれていますが、まち中を周遊するような貸し自転車ですね。ああいう置き場もやっぱり、どうしたって、今度の整備に伴って、今まで置いていた所が置けなくなることがありますので、同時に勘案していかないといけないと思うんです。そういうことも含めて検討をお願いいたします。

○山下伸二委員長

ほかになれば、これらの経緯、現状等について説明と質疑を行わせていただきましたので、執行部の皆様は退室をいただいて結構でございます。

◎執行部退室

○山下伸二委員長

それでは、引き続きまして、特別委員会の進め方について、皆様と委員間討議を行いたいというふうに思っております。

本日、資料としてお渡しをしております調査範囲等の確認、特別委員会の役割についてですけれども、お手元の資料の佐賀駅周辺整備調査特別委員会の調査範囲の資料を御用意いただきたいというふうに思います。

特に、この中の付託議案調査中、委員の一般質問については行わないということになっておりますので、この点については、御留意いただきたいと思います。

その点も含めて、この4項目について、特別委員会の役割として御確認いただきたいと思いますが、何かございましたら御発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは次に、委員会運営の方向性についてですけれども、これもお手元にお示しをしております、佐賀駅周辺整備調査特別委員会の調査の進め方案、こちらのほうを御参照いただきたいと思います。こちらのほうに、本委員会での調査事項として考えられる点について、2の調査内容として示させていただいております。今後はこの調査範囲をベースとして、執行部と、随時協議を行い、事業の進捗に応じて調査を行っていくこととしたいというふうに考えています。

また、現地視察、先進地視察等を踏まえて、議会独自の調査や、必要であれば、関連機関、団体等との意見交換による調査も行っていきたいというふうに考えていますけれどもいかがでしょうか。

○平原委員

調査内容が7番までありますよね。きょうの資料では、佐賀駅の北口だけでなく、北側のサンライズパークまでではなくて、佐賀駅のほうから県庁に向かっての、南のほうまで図を出していただいておりますので、その辺の関連というのは必要ではないかなというふうに思いますが、いかがですかね。

○山下伸二委員長

きょうの説明にありましたとおり、佐賀駅から、佐賀駅南口の広場から、中心市街地、中央大通りへの誘導策とかそういったことですね。それについても、検討する必要があるということですが、そういったものも調査項目として入れさせていただくということでもよろしいでしょうか。

○福井委員

その場合、中心市街地の部分のエリアというのが、中心市街地というと、4.何ヘクタールか、というふうな部分が入ってきますよね。それはそれなりにいろんな課題があるので、仮にそれを調査内容に入れて、一般質問とのかかわりで、そこをしめてしまうと今度は困るだろうというふうなこともちょっとありますので、関連で聞くことはあったとしてもですよ。

そこを調査内容に入れてしまうと、ちょっとまた難しいんじゃないかなという感じがするんですね。

○平原委員

そしたらその場合、この最後の、7番のその他関連事項というふうになっていますけど、その辺で網羅するというようなことで、という意味ですよ。

○福井委員

ですので、主たる調査内容からの関連事項ということでね。例えば、こういうふうなことが今行われていますということであれば、そこはもう、一般質問とのからみにはちょっと、網にはかけないというようなことをちょっと皆さんに確認していただければ、そのほうがいいだろうと思いますけど。

○山下伸二委員長

南口からですね中心市街地への誘導という点も、佐賀駅周辺整備については非常に大きな項目だと思います。ただ、中心市街地の活性化という部分については、また違った課題がありますので、なるべくそこは一般質問の制限にかからないように、ちょっと大きな枠で捉えておいて、このその他の関連事項の中で、南側誘導について必要があれば、調査項目としていくということで、御理解をいただくということでよろしいでしょうか。

○重田委員

一般質問との関連があります。基本的に入れないね。

○山下伸二委員長

何をですか。

○重田委員

南。

○山下伸二委員長

南口の整備そのものはいんですけども、それがその……

○重田委員

唐人町から下といったらですよ。あんまりエリアを広くしたら、まずいろいろ調査もできない、あんまり広くなりすぎるし、また、一般質問とか、そういう部分も含めてですよ。そこまでですねと言われると何もできなくなってくるので、ケースバイケースでやっていかないといけないと思いますので。

○山下伸二委員長

もちろん、中央大通りの整備計画と、それから中心市街地の活性化の計画がありますので、それについての質問はあると思いますので、それについては、特にもう制限はしないと、委員の皆さんについてはですね。その点については御確認いただいてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

そういったことで整理をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

それと、調査を行っていく間ですね。きょうも多くの執行部の所管部署に来ていただきましてけれども、ほかの常任委員会等との関連が出て来る場合がありますので、その点については各常任委員会の正副委員長と、私ども正副委員長で整理をさせていただくということで、ぜひよろしくお願ひしたいというふうに思います。

○白倉委員

調査事項の中で、ちょっとどうかかと、ちょっと皆さんの意見を聞きたいんですが、1、2、3、4、5まではストンとおりてくるんですね。6番の、これ佐賀駅周辺整備構想推進だから、もちろん三溝線のあれとはかかわってくるんだらうけれども、6番のSAGAサンライズパーク周辺の、サンライズパーク周辺ですね。交通対策、渋滞対策、駐車場対策と。これも、関連では入ってくるんだらうけども、調査項目に入れてしまいますか。しまったほうがいいんでしょうか。

もちろん佐賀駅の北側から、サンライズパークができたからこうなってくるんですが、サンライズパーク周辺の交通対策とか、そうやってきたときに、ここに入れてしまったほうがいいのか、どうかなってというのが、ちょっと私判断ができかねるんですが。

○山下伸二委員長

先ほど平原委員からあった件については、中心市街地の活性化の基本計画と、中央大通りの整備基本計画がありますので、それに基づく整備として整理をしようということで今話をさせていただいたんですけども、サンライズパークの整備については、今回佐賀駅周辺、佐賀駅の整備を行われる大きな項目の一つなので、その辺を入れていかないと、佐賀駅の周辺整備の調査はできないということで代表者会議の中で出された意見だというふうに認識しておりますので、ここは入れさせていただかないと、逆に難しいのかなと。

○福井委員

そこはちょっと入れていただいたほうがいいと思います。そもそも論になってくると、もう一つ、やっぱり三溝線とのつながりで、こっちはあって向こうがわからないじゃちょっと問題だろうと思うので、起点ということになってくるとあったほうがいいと思います。

○山下伸二委員長

先ほど執行部とのやり取りの中で、三溝線の整備について、地元の声とか、どういうことになっているのかとか、あと、交通量の関係とか、かなり出ていましたけれども、きょうは全くその辺については、資料がありませんでしたので、後で協議させていただきますが、そういった交通量の状況だとか、地元の皆様の声がどういうものかというのもですね、執行部から説明を受ける必要があるかなと思いますので、これはぜひ調査項目としては入れさせていただきたいと思いますので、御了解いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それから、調査報告についてですけれども、本委員会につきましては、令和3年、ですから来年の9月定例会までに、調査報告書をまとめる必要がありますので、その点については

皆様、御了承いただきたいというふうに思います。

基本的には以上のような進め方で委員会を運営したいと考えていますけれどもよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ありがとうございます。

次に、今後の特別委員会の開催等についてですけれども、委員会の中で特に調査が必要な案件が出てきた場合は、次回開催日程について協議をさせていただきたいと思っておりますけれども、特に皆様からの御要望がなければ、執行部に事業の進捗状況を確認して、2月定例会が終了して以降、3月後半になると思っておりますので、新年度になってから、次回第3回の特別委員会を開催する方向で調整したいというふうに思っておりますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

また、先の日程はわかりませんので、開催日程につきましては、正副委員長と事務局で調整の上、連絡をさせていただきますのでよろしくお願いします。

なお、きょうのやりとりを踏まえて、次回の委員会で、こういったことについて、委員の皆さんから、ぜひ、改めて深い、詳しい説明を求めたいという意見があれば、今でも結構ですし、事務局なり、正副委員長のほうに御要望いただければと思いますけれども、きょうのやりとりを踏まえて何かございますか。次回の特別委員会でこういった説明を改めて求めたいとか。

○平原委員

三溝線での車両の通行調査をされていると思っておりますけれども、やっぱりそういうデータとかですね、出していただければというふうに思います。

○山下伸二委員長

きょうですね。三溝線での車両、通行量とか、1車線でも十分間に合うとか、そういった説明があったんですけども、その根拠とかですね。あとは、きょう口頭で自治会での意見とか出されましたけれども、そういったものが、出せるものがあれば、次回の特別委員会の中で、資料として求めて、説明を受けさせていただきたいと思っております。

ほかによろしいですかね。

それから現地視察なんですけれども、今年度中はまず無理でございまして、4月、5月は、常任委員会と議会運営委員会がございまして難しいと思っております。

それから、もし関東等とかになりますと、オリンピックが終わるまでは、とてもじゃないですけども、まず宿泊の関係、交通の関係がとれないということ、それから特別委員会は常任委員会と違っていて、一名当たりの費用が限られていますので、行っても、関東ぐらいまでだというふうに思います。

そういったことを踏まえて、何か視察等で希望がありましたら、今、もし何かあったら、

ぜひ。

○重田委員

九州各県の県庁所在地の駅周辺ですね。近いので結構回れるのではないかと思いますので、その辺をお願いします。

○山下伸二委員長

例えば熊本から大分とか、いろんなところで、駅の再開発とか整備が行われていますので、済みません、事務局のほうで、主要な都市とかですね、駅周辺で、直近で、九州県内で整備が行われたところがあれば、その状況とかについて資料をちょっとまとめていただくようお願いしてよろしいですか。それを皆さんに、お示しをして、こういったところを見たいということについて、また協議をしていきたいと思います。

いずれにしても、早くてもことしの7月ですね、九州内であれば。もしくは10月以降になると思いますので、視察の希望等についても、それぞれ、また委員の皆さんで考えていただきたいと思います。

○富永委員

済みません、諫早の駅が、きのうの都市計画審議会の中で、諫早駅とそのグラウンド、サッカー場までがちょうど2キロあると。2キロ歩いて行けるように、うまい具合にやっていると先進地の報告があっていたので、ちょっとそれも見てみたいという気はしました。

○山下伸二委員長

先ほど重田委員からありましたように、九州管内の主立ったその駅の周辺の整備だとか、あと、ウォークアブル都市という観点がありますので、そういったことで、整備をされているところがあれば、幾つか先進事例を事務局のほうで洗い出しをお願いしたいというふうに思います。

○福井委員

これは、例えば九州管内の中でも、特に駅周辺でのホテルの、特に併設したようなところ、経緯とか何とかも含めて、そういうものの流れが少しわかるような、それがあれば一番ありがたいと思います。

○山下伸二委員長

ただ単にその整理をしたというだけではなかなか参考にならないと思いますので、民間と行政がどういう連携をとったのかとか、そういったことが、なるべくこの佐賀市の開発、整備に参考になるようなところに行けるように、事務局のほうに資料の洗い出しをお願いしたいというふうに思います。ちょっと難しいかもしれませんが、よろしいでしょうか。

ほかに、全体通して皆様から御意見等はございませんでしょうか。

それでは、なければこれもちまして第2回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を終了いたします。お疲れ様でした。